

<地域部門 取組事例>

○2025年

団体名	取 組 内 容
オージー技研株式会社	・体組成測定、血管硬度測定、姿勢測定を行い、柔道整復師、理学療法士、看護師によるカウンセリングを実施。 ・毎月健康に役立つブログを配信
矢掛町栄養委員会	・地域住民に対する一口運動、公民館を対象とした伝達講習会で「減塩の推進」「野菜を350g 食べよう」「バランスのよい食事で体の免疫を高めよう」などをテーマに、地域の保育園・こども園・小学校・公民館などと連携しながら、調理実習と知識の普及を行っている。 ・委員自らががん検診について学び、地域住民への検診の勧奨、啓発に努めている。

○2024年

団体名	取 組 内 容
スリーウェルネス	・血管硬度測定（パセーサ）、Inbody測定の結果を元に、専門家による（理学療法士、柔道整復師、看護師、健康運動指導士）食生活のアドバイスを実施。 ・フレイルにならないために、どこの筋肉を鍛えないといけないかなどをアドバイスし、必要なトレーニングなども指導。
新見市愛育委員会	・新見市は、HbA1c 高値者および糖尿病の患者が多い現状があり、糖尿病の予防および早期発見のために、愛育委員会が家庭訪問により健診受診勧奨を行ったり、地元のケーブルテレビと連携し健診受診の呼びかけを行っている。 ・行政放送番組（専門医による自己検診の説明、愛育委員会による検診受診の声かけ）にも取組み、通信媒体の活用により、若い世代も含めた全市民に向けたがん予防活動を積極的に展開しており、がん予防の普及啓発に多大な貢献をしている。

○2023年

団体名	取 組 内 容
くらしき心ほっとサポーター	・平成21年度から行政と協働で心の健康づくりや精神障がい正しい知識の啓発・偏見除去に取り組み、現在121名が地域で活動。 ・発足当時から行政や関係機関と協働で自殺予防のための啓発を行っており、今後さらに力を入れて取り組むことを計画。
新見市栄養改善協議会	・糖尿病や高血圧症予防といった生活習慣病予防の活動では、適塩でもおいしく食べることができるポイント等について地域住民へ普及啓発。 ・野山に自生している食材の採取・加工・保存・調理方法などを収集したデータを「にいみの食文化の継承」と題して冊子にまとめ、幅広い世代に対して各地域で伝統的な料理や作法等を伝えていく活動を展開。
北市民健康づくり会議	・食生活について、各中学校区単位で講演会などで地域住民に対して情報提供を実施。 ・各学区で作成したウォーキングマップ（ええとこ発見図）を活用してのウォーキングなど、地区ごとで工夫してウォーキングを実施。 ・歯科医がメンバーとなっている地区では、歯と口について講話、講演会を企画、実施。

○2022年

団体名	取 組 内 容
早島町栄養委員会	・各地域で資料・パンフレットの配布等を行い、フレイル予防・減塩などを啓発。 ・町主催イベントではゲームやクイズの体験を通じて、正しいお箸の使い方、甘いものとの付き合い方などを呼びかけ。
すまいる体操	・「まごわやさしい」を取り入れバランスの良い食事を心がけ、たんぱく質を積極的に摂り、運動とセットで筋肉を付けることを意識。半年に1度は福祉プラザの出張講座を受け、情報収集。 ・日常生活の中で運動を行う。生活に運動を取り入れる方法をお互いに学び合う。(月に4回実施) 口腔ケアに努め、様々な工夫を行っている。